

入院支援センターの稼働について

目的

入院前から患者の情報を把握し、病棟へつなげることで、患者・家族が安心して入院生活を送れるよう支援する。また、従来、病棟や外来で行っていた入院における医師の電子カルテ入力や看護師の各種説明、患者からの情報収集をあらかじめ行うことで医師及び看護師の業務負担軽減につなげる。

1 稼働開始日

平成 31 年 4 月 1 日～

2 稼働場所

1 階総合案内横 「入院支援センター」 ※新規に説明等に使用するブースを設置

3 業務内容

(1) 予定入院の患者に対する支援

(具体的な主な業務)

① 入院手続きの説明

② 検査や手術等の説明

③ 療養生活の案内（入院診療計画書）

④ 入院前の状況や心配事などの聴取

必要時には管理栄養士・社会福祉士・リハビリスタッフなど多職種と入院前等、早期に問題が解決できるように取り組む。

⑤ 地域のケアマネージャーなどと連携

入院前や入院中に患者の情報を共有し、患者が安心して退院できるような支援を行う。

⑥ 入院前の薬剤鑑別をして医師の指示通りに術前等の休薬が適切にできるように、入院前に患者に連絡確認する。

(2) 対象患者

① 予定入院の患者かつ以下の②患者

② 入院診療計画としてクリニカルパスが稼働している疾患

・ 外科のラパコレ、ヘルニア手術

・ 神経内科・外科のレスパイト入院パス

※ 業務の運用が安定稼働した後には他の疾患も対象とし、徐々に増やしていく。

(3) その他

入院オーダーやパスオーダーの電子カルテ登録、口腔ケアの予約等については医師の代行で電子カルテ登録を行う。

4 担当者

高山由美子（PHS3167）、石川和子（PH3815）※4月1日より入院支援センターの看護師